

# 京丹波町公共事業再評価審査委員会

## 第2回会議（会議概要）

日 時 平成23年2月14日（月）  
午前9時30分～正午

場 所 京丹波町役場2階  
議 場（ 現 地 ）

出席委員 9名

（\*設置要綱第4条第2項の規定により、本委員会が成立）

### 1 開 会

- ・副町長挨拶
- ・委員長挨拶
- ・白石委員紹介

### 2 議 事

#### （1）現地調査

- ・午前 9時45分 町道235号線 現地到着

担当課から説明

（主な意見・質問等）

- ・委員

遮水擁壁天端部が町道になるが、水位はどれくらいになるのか。

- ・担当課

町道から3.5m程度下がったところがサーチャージ水位（洪水時に一時的に貯留される最高水位）となります。

（遮水擁壁床掘時点の現場において、およその計画を説明し、現地に設置されたSWL，NWLの標識で水位を確認した。）

- ・午前10時45分 町道235号線 現地調査終了

#### （2）対象事業（町道235号線道路改良事業）の再評価について

- ・担当課から事業概要について説明

(主な意見・質問等)

・委員

事業費の内訳について説明をおねがいしたい。

・担当課

現在の協定では、町負担分のうち本工事費592,663,050円、用地補償費80,940,264円、事務費4,694,365円となっており、さらに、道路築造分の協定額は353,252,550円、単費分は169,894,200円、舗装分の協定額は57,615,600円、単費分は11,900,700円となっています。

・委員

国と府と町の費用負担はどのようになっているのですか。

・担当課

工事費用の342,000,000円うち京都府が166,000,000円、町が176,000,000円、このうち100,000,000円の国庫補助を徴している。

・委員

町としてこの町道をどのような位置づけにしようとしているのですか。

・副町長

この開発において、構想図の提出をいただいたくらい、地元の方も夢を持たれており、町としても観光資源開発のために大変必要となる町道と考えており、平成23年度において事業手法の検討を予定しており、町を活性化させる材料であると考えています。

・委員

費用対効果において、計画交通量の800台/日の便益が過大でないか、維持管理費用が過少となっていないか等、国の計算手法で出た結果が町として不安はないですか。

・担当課

過大や、過少はないと思っています。

・委員

費用対効果の3.9は町としてどのように考えていますか。

・担当課

快適性も向上し、時間短縮も図られるため、結果としては問題ないと考えています。

- ・委員

マニュアルでは、維持管理費が50年間で約45百万円は少なすぎないか。周辺道路の現状を踏まえた費用を考慮し算出すべきではないですか。

また、マニュアルとおりの算出では委員会を設置し検討しなくてもいいと考えられるので、実態に合った費用等で算出されたもので検討出来ればこの委員会の目的が達成されるのではないですか。

- ・担当課

当該路線には、重要構造物もなく、舗装修繕が主になると考えられますので、この費用を考慮した計算に改めたいと思います。

### 3 その他

第3回審査委員会 2月28日（月）午前10時から

### 4 閉 会

- ・隅山副委員長挨拶

第2回京丹波町公共事業再評価審査委員会  
現地調査日程表（平成23年2月14日）

午前 9時30分 役場前 出発

午前 9時45分 町道235号線 現地到着

担当課から説明

質疑応答

午前10時45分 町道235号線 現地出発

午前11時00分 役場前 到着（到着後、議場へ）

